令和８年度

定 期 監 査 結 果 報 告 書

八幡浜地区施設事務組合

八幡浜地区施設事務組合監査委員

目　　次

定期監査結果報告 ---------- 1

一般会計 ---------- 2
（事務局）

消防事業特別会計 ---------- 4
（消防本部及び消防署）

一次救急休日・夜間診療所事業特別会計 ---------- 9
（一次救急休日・夜間診療所）

特別養護老人ホーム事業特別会計 ---------- 12
（特別養護老人ホーム青石寮）

し尿処理事業特別会計 ---------- 15
（し尿処理施設一楽園）

定 期 監 査 結 果 報 告

1　監　査　の　対　象　　八幡浜地区施設事務組合

2　監　査　の　月　日　　令和８年８月４日

3　監　　査　　場　　所　　八幡浜市役所（八幡浜庁舎）監査事務局

4　監査を行った者　　監査委員　　若　宮　髙　治
　　同　　阿　部　吉　馬

5　監査の方針

令和７年度の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について資料の提出を求めて事情を聴取して監査を行い、必要により、事務又は長の権限に属する事務の執行についても監査を行った。

6　監査の結果及び意見

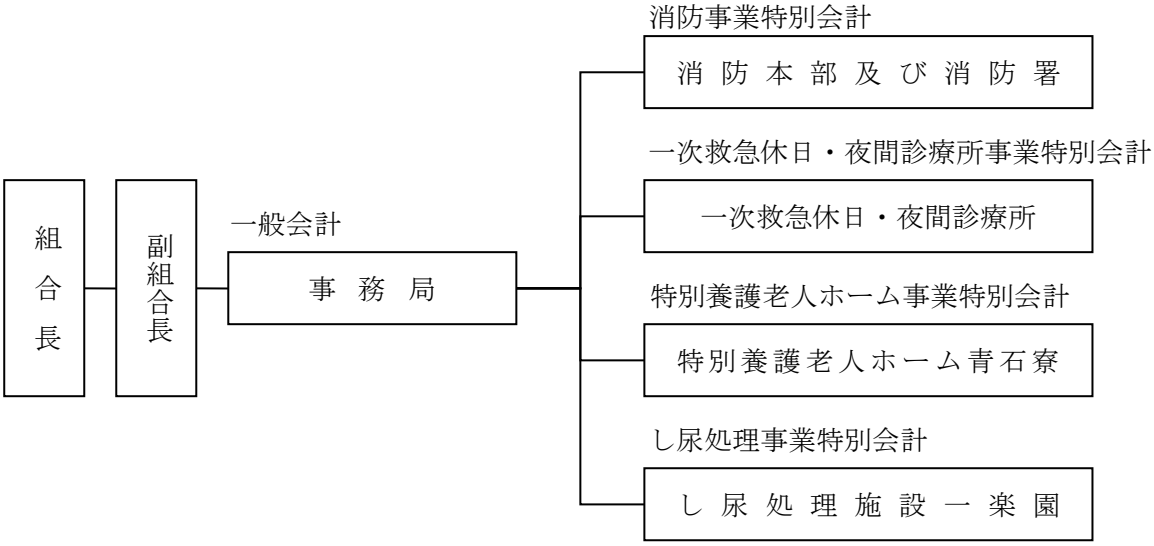
(1)　八幡浜地区施設事務組合の組織の概要

令和８年８月１日現在における当組合の組織構成は次表のとおりとなっており、会計は事務局が所管する一般会計と４つの各事業に特別会計を設けて処理している。

職員数は条例定数175名に対し、専任職員144名のほか、会計年度任用職員フルタイム18名、パートタイム28名、計190名（併任、嘱託を除く）となっている。

また、会計管理者、監査委員の事務は、八幡浜市の当該部署の職員が補助しており、公平委員会事務は愛媛県人事委員会へ委託している。

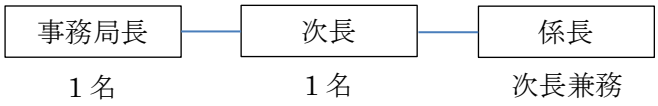
各会計についての監査結果及び意見は次のとおりである。



一　般　会　計
（事　　務　　局）

(1)　職員の配置と事務分掌

現在、事務局職員は２名で、組合議会、組合職員、各施設の連絡調整に関する事務を行っている。



(2)　予算の執行状況

ア　歳入・歳出

令和 7 年度の八幡浜地区施設事務組合一般会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額 26,314,000 円、調定額、収入済額ともに 26,166,664 円（執行率 99.4%）、支出済額 24,790,496 円（執行率 94.2%）であって、収支差引額は 1,376,168 円の黒字となっている。

収入の大部分を占める負担金は、関係市町の協力により計画的に納付されており、資金操作はスムーズに行われている。

また、負担割合は均等割 50%、人口割 50%である。

令和7年度　一般会計予算執行状況表（令和8年5月31日現在）

（歳入）　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率(%)	徴収率(%)
1 分担金及び負担金	23,336,000	23,336,000	23,336,000	0	100.0	100.0
2 繰越金	1,228,000	1,228,654	1,228,654	0	100.1	100.0
3 諸収入	1,750,000	1,602,010	1,602,010	0	91.5	100.0
合　　計	26,314,000	26,166,664	26,166,664	0	99.4	100.0

（歳出）

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
1 議会費	230,000	202,791	27,209	88.2
2 総務費	26,084,000	24,587,705	1,496,295	94.3
合　　計	26,314,000	24,790,496	1,523,504	94.2

歳入歳出差引額	1,376,168

イ　給与支払事務

当組合職員に係る給与支払事務は事務局（一次救急休日・夜間診療所、し尿処理施設一楽園を含む。）、消防本部（消防署）及び特別養護老人ホーム青石寮で行っており、源泉徴収する所得税、市町県民税、共済組合掛金等は給料支払日に徴収し、関係機関へ納付している。

なお、令和 7 年度の人件費の支払額は 1,344,452,750 円、源泉徴収の額は 219,765,194 円であり、その会計別内訳は次表のとおりである。

人件費の内訳

（単位：円）

区分	一般会計	消防事業特別会計	一次救急休日・夜間診療所事業特別会計	特別養護老人ホーム事業特別会計	し尿処理事業特別会計	合　　計
報酬支払額	200,431	3,249,500	47,380,170	37,681,904	0	88,512,005
議員報酬	153,496	0	0	0	0	153,496
組合長等二役報酬	26,232	0	0	0	0	26,232
監査委員報酬	20,703	0	0	0	0	20,703
医師・委員等報酬	0	0	36,933,800	3,275,889	0	40,209,689
会計年度任用職員報酬	0	3,249,500	10,446,370	34,406,015	0	48,101,885
職員給	16,152,471	664,308,781	7,737,171	299,838,862	3,529,154	991,566,439
給料	9,904,500	411,381,274	4,893,600	179,416,154	2,480,400	608,075,928
職員手当等	6,247,971	252,927,507	2,843,571	120,422,708	1,048,754	383,490,511
共済費等	3,398,542	141,530,020	1,671,195	65,506,470	702,508	212,808,735
退職金（退職手当組合負担金）	0	34,374,740	0	16,856,831	0	51,231,571
職員互助会負担金	0	334,000	0	0	0	334,000
災害補償費	0	0	0	0	0	0
合　　計	19,751,444	843,797,041	56,788,536	419,884,067	4,231,662	1,344,452,750

源泉徴収の内訳

（単位：円）

区分	一般会計	消防事業特別会計	一次救急休日・夜間診療所事業特別会計	特別養護老人ホーム事業特別会計	し尿処理事業特別会計	合　　計
市町・県民税	649,100	27,115,800	557,300	12,063,700	116,500	40,502,400
所得税	352,234	17,482,443	1,763,798	5,917,964	40,100	25,556,539
共済・互助会掛金（個人負担分）	2,556,667	104,791,158	1,235,594	44,605,510	517,326	153,706,255
合　　計	3,558,001	149,389,401	3,556,692	62,587,174	673,926	219,765,194

(3)　経理事務

経理事務については、予算整理表、調定簿、徴収簿等を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

(4)　備品管理

備品を備品台帳と照合（摘出法）したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

(5)　監査の結果

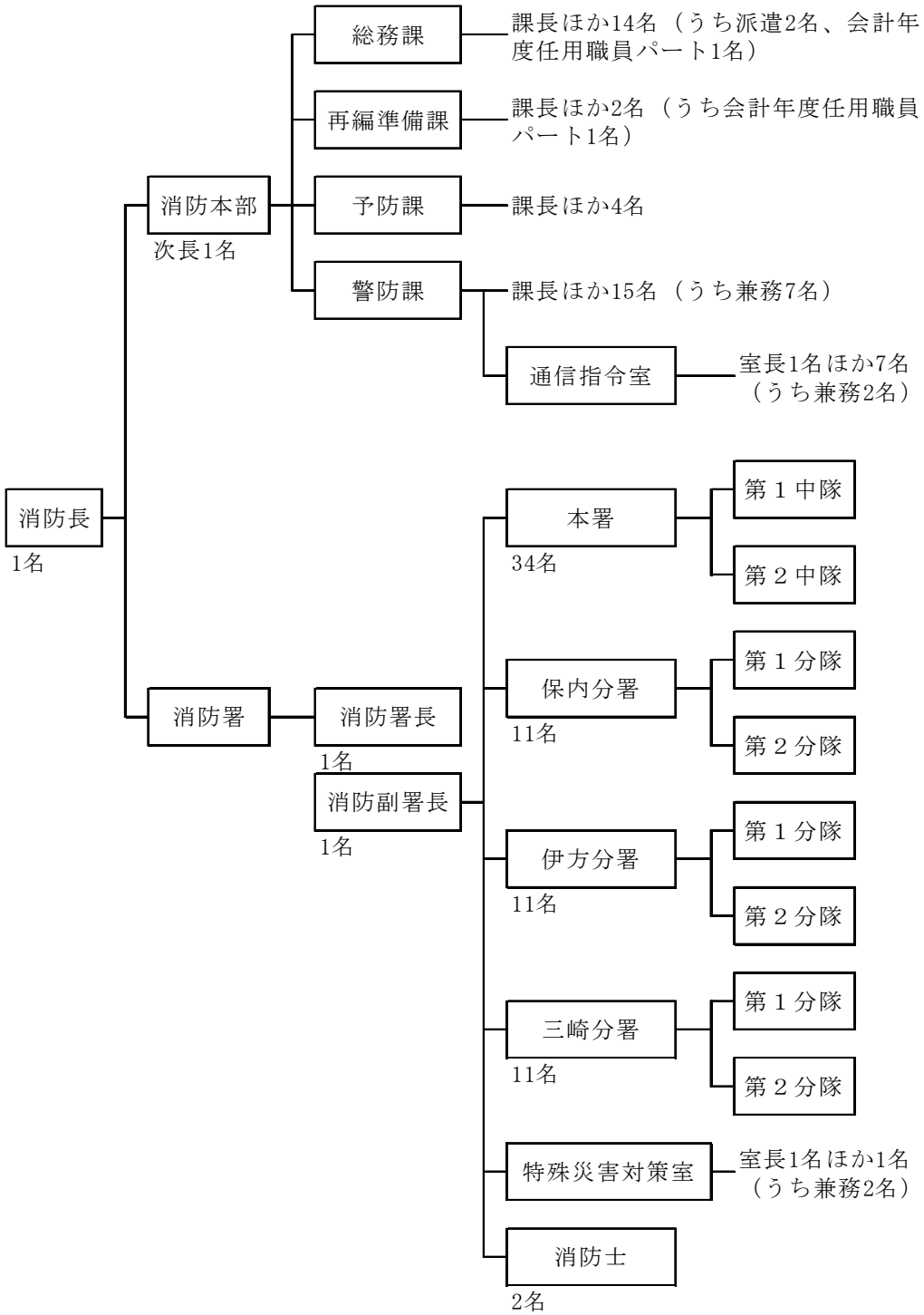
事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

消 防 事 業 特 別 会 計

（消防本部及び消防署）

(1) 職員の配置と事務分掌

令和８年８月１日現在における職員数は105名（会計年度任用職員パート２名を含む）で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



消防監	司令長	司　令	司令補	士　長	副士長	消防士	事務職員	会計年度任用職員（パート）	計
1名	8名	12名	31名	15名	11名	24名	1名	2名	105名

⑵　予算の執行状況

令和７年度の消防事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額 2,201,922,000 円、調定額、収入済額ともに 1,977,182,203 円（執行率 89.8%）、支出済額 1,347,396,355 円（執行率 61.2%）であって、収支差引額は 629,785,848 円の黒字となっている。

支出のうち主なものは、職員等の人件費 843,797,041 円（構成比 62.6%）である。

なお、各市町の負担割合は、経常経費分は均等割 40%、交付税割 60%であり、投資的経費分は均等割 50%、交付税割 50%である。

令和7年度　消防事業特別会計予算執行状況表（令和8年5月31日現在）

（歳入）　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率（%）	徴収率（%）
1 分担金及び負担金	1,864,737,000	1,864,737,000	1,864,737,000	0	100.0	100.0
2 使用料及び手数料	342,000	346,100	346,100	0	101.2	100.0
4 県支出金	272,149,000	23,085,235	23,085,235	0	8.5	100.0
5 繰越金	54,587,000 (28,600,000)	54,587,146 (28,600,000)	54,587,146 (28,600,000)	0 (0)	100.0 100.0	100.0 100.0
6 諸収入	10,107,000	34,426,722	34,426,722	0	340.6	100.0
合　計	2,201,922,000 (28,600,000)	1,977,182,203 (28,600,000)	1,977,182,203 (28,600,000)	0 (0)	89.8 100.0	100.0 100.0

（歳出）

目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	予算残額	執行率（%）
1 常備消防費	970,591,000	940,173,445	0	30,417,555	96.9
うち人件費	860,430,000	843,797,041	0	16,632,959	98.1
2 消防施設費	1,229,331,000 (28,600,000)	407,222,910 (28,176,000)	809,870,000 (0)	12,238,090 (424,000)	33.1 98.5
3 予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0
合　計	2,201,922,000 (28,600,000)	1,347,396,355 (28,176,000)	809,870,000 (0)	44,655,645 (424,000)	61.2 98.5

※（　）は繰越事業分で内数

歳入歳出差引額	629,785,848

⑶　業務実績

ア　予防業務

令和８年３月 31 日現在、消防用設備等を必要とする防火対象物数は 1,521 件であり、令和７年度（4～3 月）において 260 件の査察を行った。

イ　警防業務

令和８年３月 31 日現在の主要な現有設備及び機材の状況は次表のとおりである。

<table>
<tr><td></td><td>設備及び機材の内容　　令和８年３月31日現在</td></tr>
<tr><td>消防ポンプ及び車両</td><td>【本署】
・タンク車（1,500ℓ水槽・薬剤装置付）1 台・小型動力ポンプ付水槽車（6,000ℓ水槽）1台・ポンプ車（700ℓ水槽・薬剤装置付）1台・山林火災活動車1台・はしご車（ポンプ水路付先端屈折式）1 台・救助工作車（ウインチ・クレーン・照明装置付）1 台・水難救助車1台・指揮車1台・本部救急車（高規格）2台・非常用救急車1台・救助資機材搬送車1台・軽資機材搬送車1台・災害時消防活動二輪車2台・査察車1台・多目的車1台
【保内分署】
・ポンプ車（700ℓ水槽付）1台・救急車（高規格）1台・広報車1台
・災害時消防活動二輪車1台
【伊方分署】
・ポンプ車（700ℓ水槽付）1台・救急車（高規格）1台・広報車1台
・災害時消防活動二輪車1台
【三崎分署】
・ポンプ車（700ℓ水槽付）1台・救急車（高規格）1台・広報車1台
・災害時消防活動二輪車1台
（国からの無償貸与）
・支援車1台・重機搬送車（クレーン・重機積載装置）1台・重機1台・小型救助車1台
【原子力防災用】県からの無償貸与
・要支援者搬送車1台・要配慮者搬送車2台・資機材搬送車2台</td></tr>
<tr><td>救助用器具</td><td>三連はしご5台、空気式救助マット2個、救命索発射銃2台を含む85点の救助用器具</td></tr>
<tr><td>消火用器具</td><td>ホース（50㎜）171本、ホース（65㎜）161本を含む430点の消火用器具</td></tr>
<tr><td>泡消火薬剤</td><td>・水成膜消火薬剤1.20 kl
・クラスA泡消火剤0.35 kl</td></tr>
<tr><td>保護用器具</td><td>空気ボンベ50本、空気呼吸器7台を含む117点の保護用器具</td></tr>
<tr><td>水難救助用器具</td><td>潜水器具12器、水中投光器9台を含む40点の水難救助用器具</td></tr>
<tr><td>測定用器具</td><td>・可燃性ガス測定器1台・有毒ガス測定器1台
・複合型ガス測定器5台</td></tr>
<tr><td>緊急援助隊用具</td><td>・野営資機材一式2セット</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>・投光器14台・発電機17台・レーザー距離計3台
・災害用パソコン2台・災害用エアーテント4張・ドローン1台</td></tr>
<tr><td>無線関係</td><td>
<table>
<tr><th rowspan="2">種別
配備</th><th rowspan="2">基地局</th><th rowspan="2">固定局</th><th rowspan="2">無線LAN</th><th colspan="6">陸上移動局</th><th rowspan="2">合計</th></tr>
<tr><th colspan="3">デジタル</th><th colspan="3">アナログ</th></tr>
<tr><th></th><th></th><th></th><th>車載</th><th>携帯</th><th>半固定</th><th>車載</th><th>携帯</th><th>署活系無線</th></tr>
<tr><td>消防署</td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>21</td><td>15</td><td>1</td><td>21</td><td>2</td><td>46</td><td>108</td></tr>
<tr><td>保内分署</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td></td><td>7</td><td>17</td></tr>
<tr><td>伊方分署</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td></td><td>7</td><td>17</td></tr>
<tr><td>三崎分署</td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td></td><td>7</td><td>17</td></tr>
<tr><td>布喜川基地局</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr>
<tr><td>堂々山基地局</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>伽藍山基地局</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>30</td><td>24</td><td>4</td><td>30</td><td>2</td><td>67</td><td>166</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

ウ　火災の状況

令和7年中(1～12月)の出火件数は18件（前年15件）、損害見積額は25,545千円（前年136,538

千円）である。

火災の内訳を種類別で見ると、建物火災 8 件（前年 7 件）、林野火災 3 件（前年 1 件）、車両火災 0 件（前年 0 件）、船舶火災 0 件（前年 1 件）、その他 7 件（前年 6 件）であり、罹災者は 8 世帯 14 名（前年 11 世帯 19 名）である。

エ　救急業務

令和 7 年中（1～12 月）における救急業務の活動状況は、次表のとおりであり、救急車は高度に利用されていることが認められた。

出場の状況を種類別に見ると、主なものは急病 1,397 件（構成比 60.0%）、一般負傷 500 件（構成比 21.5%）、交通事故 113 件（構成比 4.9%）となっている。

（単位：人・件）

区分＼事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転送搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
八幡浜市	出場件数	2	1	4	87	22	4	375	2	11	1,035	221	1		5	1,770
	搬送人員	1		1	80	21	4	342	2	7	866	217				1,541
伊方町	出場件数	1		4	26	5	1	106	2	2	312	27				486
	搬送人員	1		3	31	4		93	2	1	244	27				406
西予市（旧三瓶町）	出場件数							19		1	50	2				72
	搬送人員							19			35	2				56
その他（管轄外）	出場件数															0
	搬送人員															0
合計	出場件数	3	1	8	113	27	5	500	4	14	1,397	250	1	0	5	2,328
	搬送人員	2	0	4	111	25	4	454	4	8	1,145	246	0	0	0	2,003

※西予市三瓶町は令和7年1月から令和7年3月までの件数である。

オ　救助業務

令和 7 年中（1～12 月）における事故種別の救助業務の活動状況は、次表のとおりである。

出動の状況を事故別に見ると、火災 0 件（構成比 0.0%）、交通事故 10 件（構成比 45.5%）、水難事故 5 件（構成比 22.7%）、自然災害 0 件（構成比 0.0%）、機械による事故 1 件（構成比 4.5%）、建物等による事故 0 件（構成比 0.0%）、その他 6 件（構成比 27.3%）となっている。

令和7年　事故種別救助活動状況

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	その他	合計
出動件数	0 件	10 件	5 件	0 件	1 件	0 件	6 件	22 件
	0.0%	45.5%	22.7%	0.0%	4.5%	0.0%	27.3%	100.0%
活動件数	0 件	7 件	4 件	0 件	1 件	0 件	4 件	16 件
	0.0%	43.8%	25.0%	0.0%	6.3%	0.0%	25.0%	100.0%
救助人員	0 人	10 人	2 人	0 人	1 人	0 人	4 人	17 人
	0.0%	58.8%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	23.5%	100.0%

※下段は構成比である。

⑷　経理事務

経理事務については、予算整理表、調定簿、徴収簿等を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

⑸　備品管理

備品を備品台帳と照合（摘出法）したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

⑹　監査の結果

事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

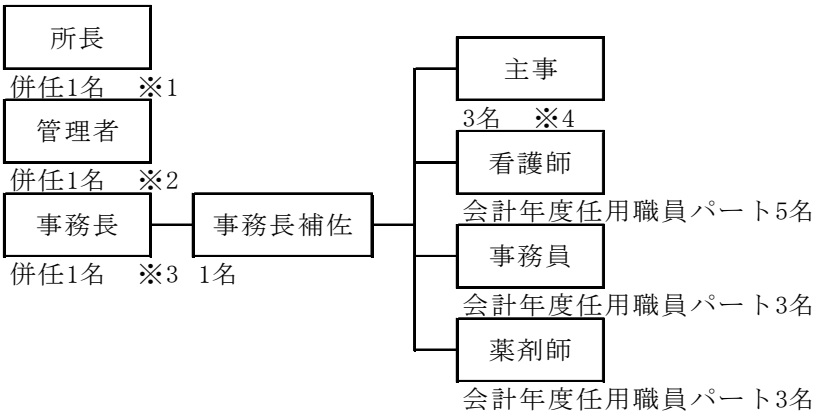
一次救急休日・夜間診療所事業特別会計

（一次救急休日・夜間診療所）

⑴　職員の配置と事務分掌

当施設は、休日及び夜間における地域住民の応急医療を行うため、八幡浜医師会を始め各方面の協力を得て、昭和 54 年 4 月に市立八幡浜総合病院内に開設し、昭和 59 年 4 月からは当施設の設置、管理及び運営に関する事務を当組合で処理している。

なお、令和 8 年 8 月 1 日現在、職員数は 18 名（併任 3 名、市立八幡浜総合病院との併任 3 名、会計年度任用職員パート 11 名を含む）で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



※1　八幡浜市副市長がその職にあたっている。
※2　八幡浜医師会長がその職にあたっている。
※3　八幡浜地区施設事務組合 事務局長が併任
※4　市立八幡浜総合病院 事務局職員が併任

⑵　予算の執行状況

令和 7 年度の一次救急休日・夜間診療所事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額 92,769,000 円、調定額、収入済額ともに 92,680,137 円（執行率 99.9%）となっている。

支出済額は 89,852,065 円（執行率 96.9%）であって、収支差引額は 2,828,072 円の黒字となっている。

支出の内容は、嘱託医及び職員の人件費 56,788,536 円（構成比 63.2%）とその他運営費 33,063,529 円（構成比 36.8%）である。この運営費のうちには施設設備管理委託料 2,000,000 円（構成比 2.2%）、空床確保負担金 27,000,000 円（構成比 30.0%）の市立八幡浜総合病院への支出経費も含まれている。

なお、各市町の負担割合は人口割で八幡浜市 79.21%、伊方町 20.79%となっている。なお、西予市は令和 6 年度末に施設事務組合の構成団体から脱退しているが、一次救急休日・夜間診療所については、令和 7 年度から事務委託を受けており、令和 7 年度は 10,123,000 円の事務負担金が西予市より納入されている。

令和7年度　一次救急休日・夜間診療所事業特別会計予算執行状況表（令和8年5月31日現在）

（歳入）　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率	徴収率
1 診療収入	12,230,000	12,138,040	12,138,040	0	99.2%	100.0%
2 分担金及び負担金	76,230,000	76,230,000	76,230,000	0	100.0%	100.0%
3 繰越金	2,010,000	2,010,024	2,010,024	0	100.0%	100.0%
4 諸収入	2,299,000	2,302,073	2,302,073	0	100.1%	100.0%
合　　計	92,769,000	92,680,137	92,680,137	0	99.9%	100.0%

（歳出）

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
1 一次救急休日・夜間診療所費	92,769,000	89,852,065	2,916,935	96.9%
合　　計	92,769,000	89,852,065	2,916,935	96.9%

歳入歳出差引額	2,828,072

⑶　診療実績

令和７年度における診療実績は次表のとおりである。

令和7年度 診療科別患者数　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成割合	前年度実績	対前年度比率
内科	62	63	62	57	81	60	50	108	99	145	82	49	918	69.9%	1,299	70.7%
小児科	29	14	27	17	21	27	21	35	42	20	49	30	332	25.3%	366	90.7%
外科	7	8	8	8	7	3	6	3	4	9	0	1	64	4.9%	60	106.7%
合計	98	85	97	82	109	90	77	146	145	174	131	80	1,314	100.0%	1,725	76.2%

令和7年度 市町別患者数　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成割合	前年度実績	対前年度比率
八幡浜市	62	57	65	58	71	60	52	92	103	113	82	40	855	65.1%	1,132	75.5%
伊方町	14	16	6	9	16	13	8	21	8	21	7	10	149	11.3%	189	78.8%
三瓶町	3	2	6	5	6	3	8	9	7	7	5	4	65	4.9%	112	58.0%
他西予市	5	1	6	3	2	6	3	2	4	7	8	6	53	4.0%	34	155.9%
大洲市	8	3	10	3	5	4	1	13	10	7	12	18	94	7.2%	100	94.0%
内子町	2	2	1	2	2	0	3	2	5	0	11	1	31	2.4%	36	86.1%
その他	4	4	3	2	7	4	2	7	8	19	6	1	67	5.1%	122	54.9%
合　計	98	85	97	82	109	90	77	146	145	174	131	80	1,314	100.0%	1,725	76.2%

⑷　経理事務

経理事務については、予算整理表、調定簿、その他関係帳票を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

⑸　備品管理

備品を備品台帳と照合（摘出法）したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

⑹　監査の結果

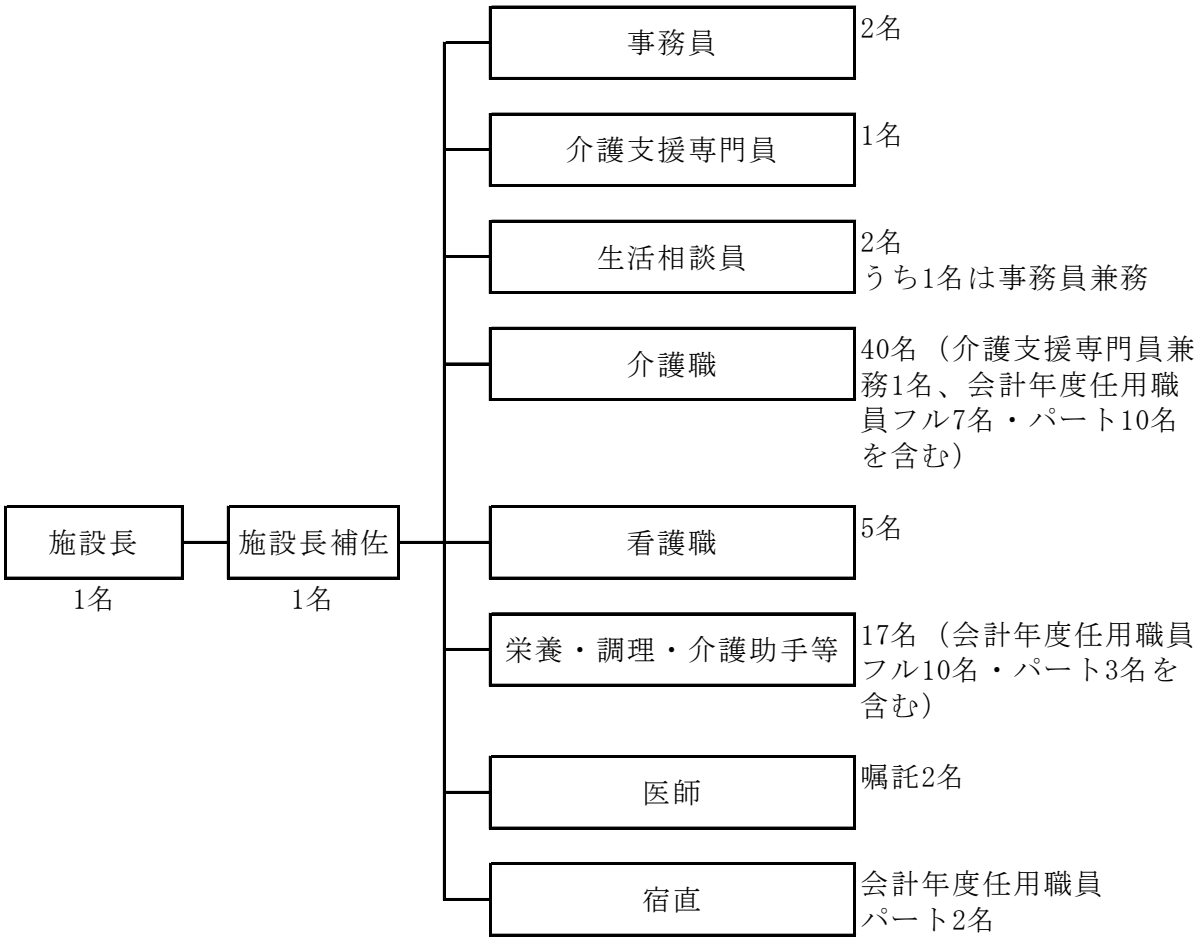
事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

特別養護老人ホーム事業特別会計

（特別養護老人ホーム青石寮）

(1) 職員の配置と事務分掌

令和８年８月１日現在における職員数は 73 名（会計年度任用職員フルタイム 17 名･パート 15 名、嘱託医師２名を含む）で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



(2) 予算の執行状況

令和 7 年度の特別養護老人ホーム事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額 557,052,000 円、調定額、収入済額ともに 553,568,103 円（執行率 99.4%）となっている。

支出済額は 533,928,242 円（執行率 95.8%）であり、収支差引額は 19,639,861 円の黒字となっている。

支出の内容は、職員等の人件費 419,884,067 円（構成比 78.7%）、公債費 7,082,729 円（構成比 1.3%）、その他運営費 106,961,446 円（構成比 20.0%）である。

なお、各市町の負担割合は人口割で八幡浜市 79.21%、伊方町 20.79%となっている。

令和7年度　特別養護老人ホーム事業特別会計予算執行状況表（令和8年5月31日現在）

（歳入）　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率	徴収率
1 サービス収入	411,346,000	401,509,642	401,509,642	0	97.6%	100.0%
2 分担金及び負担金	80,090,000	80,090,000	80,090,000	0	100.0%	100.0%
3 県支出金	2,981,000	9,521,108	9,521,108	0	319.4%	100.0%
4 財産収入	74,000	90,595	90,595	0	122.4%	100.0%
5 寄付金	1,000	0	0	0	0.0%	－
6 繰入金	61,279,000	61,279,107	61,279,107	0	100.0%	100.0%
7 繰越金	367,000	367,616	367,616	0	100.2%	100.0%
8 諸収入	914,000	710,035	710,035	0	77.7%	100.0%
合　　計	557,052,000	553,568,103	553,568,103	0	99.4%	100.0%

（歳出）

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
1　サービス事業費	549,746,000	526,724,673	23,021,327	95.8%
うち人件費	431,946,000	419,884,067	12,061,933	97.2%
2 公債費	7,083,000	7,082,729	271	100.0%
3 諸支出金	123,000	120,840	2,160	98.2%
4 予備費	100,000	0	100,000	0.0%
合　　計	557,052,000	533,928,242	23,123,758	95.8%

歳入歳出差引額	19,639,861

⑶　利用者の状況

当施設の利用者は令和8年3月31日現在、老人福祉施設事業が定員110名に対して93名（男28名、女65名）である。

また、短期入所生活介護（ショートステイ）事業は老人福祉施設の空床を利用した事業であるが、令和7年度の利用はなかった。

⑷　業務実績

令和7年度においても、寝たきり防止に関する対策、機能訓練、地域交流・ボランティアの活用等の各種施設処遇の取組方針を策定し、適切に実践されていることを認めた。

⑸　経理事務

経理事務については、予算整理表、調定簿、経理簿その他関係帳票を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

⑹　備品管理

備品を備品台帳と照合（摘出法）したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

⑺　監査の結果

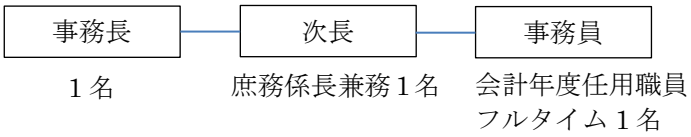
事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

し尿処理事業特別会計

（し尿処理施設一楽園）

(1) 職員の配置と事務分掌

令和８年８月１日現在における職員数は事務長以下３名で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



(2) 予算の執行状況

令和７年度のし尿処理事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額 190,574,000 円、調定額 190,504,069 円、収入済額 190,501,769 円（執行率 100.0%）となっており、多目的広場使用料に収入未済額 2,300 円が生じている。

支出済額 181,712,161 円（執行率 95.3%）であって、収支差引額は 8,789,608 円の黒字となっている。

支出の内容は、維持補修費 69,559,050 円（構成比 38.3%）、し尿処理施設管理委託料 34,491,600 円（構成比 19.0%）、職員等の人件費 4,231,662 円（構成比 2.3%）、その他運営費に 73,429,849 円（構成比 40.4%）である。

なお、各市町の負担割合は、八幡浜市 60%、伊方町 40%となっている。

令和7年度　し尿処理事業特別会計予算執行状況表（令和8年5月31日現在）

（歳入）　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率	徴収率
1 分担金及び負担金	175,108,000	175,108,000	175,108,000	0	100.0%	100.0%
2 使用料及び手数料	3,306,000	3,234,056	3,231,756	2,300	97.8%	99.9%
3 繰越金	11,830,000	11,830,709	11,830,709	0	100.0%	100.0%
4 諸収入	330,000	331,304	331,304	0	100.4%	100.0%
合　　計	190,574,000	190,504,069	190,501,769	2,300	100.0%	100.0%

（歳出）

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
2 総務費	6,861,000	6,506,769	354,231	94.8%
3 衛生費	164,285,000	158,335,627	5,949,373	96.4%
4 土木費	18,428,000	16,869,765	1,558,235	91.5%
6 予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0%
合　　計	190,574,000	181,712,161	8,861,839	95.3%

歳入歳出差引額	8,789,608

(3) 業務実績

当施設の1日処理能力は52.0 kℓであり、令和7年度における稼動日数は242日である。また、各市町のし尿搬入実績は次表のとおりとなっている。

市町、全体の搬入台数は5,021.6台であり、対前年度比は183.7台（3.8%）の増加となった。これを量に換算すると搬入量9,038.9 kℓとなり、対前年度比は330.7 kℓ（3.8%）の増加である。

なお、収集運搬業者からは、搬入車両1台（1.8 kℓ）あたり施設使用料として560円を徴収している。一方、搬入車両1台の処理にかかる電力及び燃料、薬品の費用は9,394円となっている。

し尿搬入割当及び実績比較

		令和7年度			令和6年度	増減
		八幡浜市	伊方町	合計	合計	合計
搬入割当台数		6,192台	4,128台	10,320台	10,320台	0台
搬入実績	搬入台数	3,073.6台	1,948.0台	5,021.6台	4,837.9台	183.7台
	搬入量（搬入台数×1.8kℓ）	5,532.5kℓ	3,506.4kℓ	9,038.9kℓ	8,708.2kℓ	330.7kℓ
搬入率（搬入台数/搬入割当台数）		49.6%	47.2%	48.7%	46.9%	1.8ポイント

(4) 経理事務

経理事務については、予算整理表、調定簿、その他関係帳票を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

(5) 備品管理

備品を備品台帳と照合（摘出法）したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

(6) 監査の結果

事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。